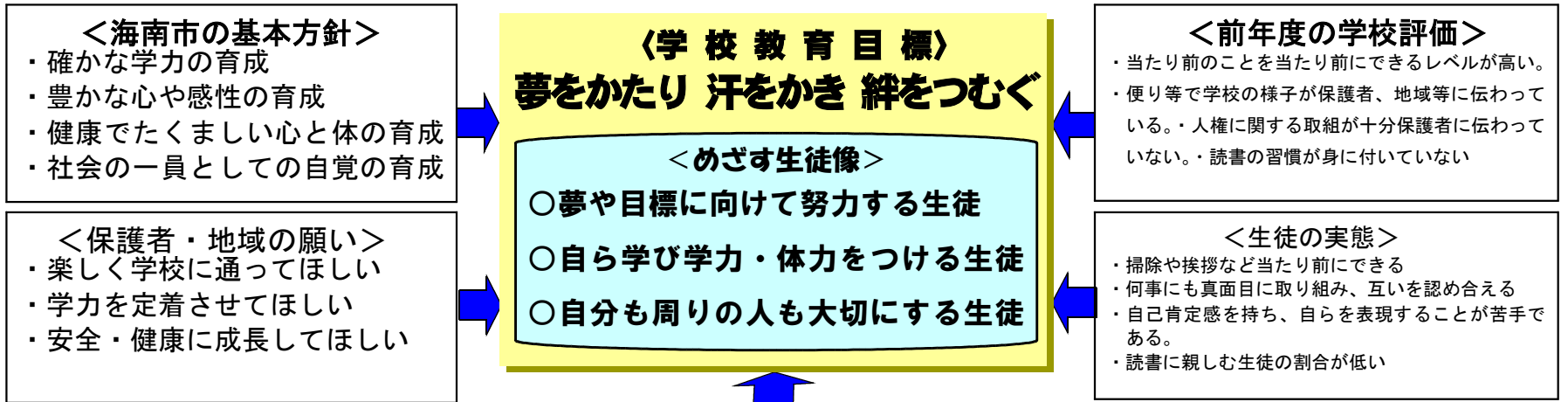


令和7年度 海南市立下津第二中学校 スクールプラン



本年度の重点目標

自ら学ぶ力を育て、確かな学力をつける

- ①わかる喜びが実感できるよう授業を改善する。
 - ・知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学習に取り組む態度を養う。
 - ・チーム・ティーチング等の工夫改善を行い、個別最適な学びと協働的な学びを充実する。
 - ・特別支援教育の視点を大切にする。
- ②「主体的・対話的で深い学び」について研究を深める。
 - ・「深い学び」、「ICTの活用」、「指導と評価の一体化」について研究を深める。
- ③読書と家庭学習を充実する。
 - ・朝読書や家庭読書など、習慣化に向けた取組を充実する。
 - ・家庭学習の充実に向けた取組を行う。

豊かな心や感性を育む

- ④感動があり、活気のある学校生活を創造する。
 - ・行事や生徒会活動などで生徒の自主性を育成し、多くの感動体験を味わわせる。
- ⑤いきいきとした学校づくりを推進する。
 - ・温かい人間関係や心の居場所としての学級・学年づくりを目指した活動を充実する。
 - （いじめ撲滅と話し合い活動の推進に取り組む。）
 - ・人権教育を推進し、自分と周囲の人との関わり、障害者理解、命の重みについて考え、互いの人権を大切にする
- ⑥道徳性を育成する。
 - ・特別の教科道徳を要として、学校教育活動全体を通じて道徳教育に取り組む。

健康でたくましい心と体を育てる

- ⑦生徒の生活実態を把握し、正しい生活習慣と、秩序ある校風を創造する。
 - ・挨拶・授業規律・清掃を重視し、清潔感に満ち、落ち着いた雰囲気を作る。
 - ・一日や授業の始まりと終わりを大切にする。
 - ・スマホ、ゲーム機等の適切な使用について啓発する。
- ⑧欠席しがちな生徒への支援の充実を図る。
 - ・家庭・SC・関係機関と密に連携し、組織的に支援する。
- ⑨体力の向上と部活動の充実を図る。
 - ・自主的な活動を育て、仲間との連帯感を培うとともに、気力・体力・技能・礼儀を向上させる。
 - ・駅伝や運動を勧め、競技力の基礎となる走る力を強化する。

地域とともにある、信頼される学校づくり

- ⑩学校情報を積極的に発信するとともに、ボランティア活動に積極的に取り組み、市民性を身に付けさせる。
 - ・生徒会での福祉活動を充実する。
 - ・行事や総合的な学習の時間に、できるだけ多くの保護者や地域の人々等が参加できるように工夫する。
 - ・学校運営協議会において、地域とともにある学校になるために、地域住民及び保護者と協議する。
- ⑪総合的な学習の時間で体験的な学習の充実を図る。
 - ・地域等と連携した体験的な活動を通じて、自己を理解させ、将来の生き方を考えさせる。
- ⑫防災の意識を高める。
 - ・地域住民とともに、将来の災害に対応できる知識と行動力を身に付けさせる。

重点目標にかかる指標

- ① 生徒アンケートで、「授業がわかる」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ② 授業改善に向けて、教員全員が研究授業を年1回以上実施する。
- ③ 生徒アンケートで、「1週間に2時間以上家庭学習をする（塾等も含む）日が3日以上ある」の肯定的な意見が60%以上となる。
- ④ 生徒アンケートで、「活気ある学校か」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ⑤ 生徒アンケートで、「学校が楽しい」の問いに肯定的な意見が100%となる。
- ⑥ 生徒アンケートで、「トイレのスリッパを丁寧にそろえる」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ⑦ 生徒アンケートで、「そうじの取組」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ⑧ 教員アンケートで、「欠席しがちな生徒への連携した支援」の問いに肯定的な意見が100%となる。
- ⑨ 体力テストの結果が、実施種目2/3で全国平均を上回る。
- ⑩ 学校運営協議会による学校評価で、「地域との連携」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ⑪ 生徒アンケートで「体験的な学習」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ⑫ 生徒アンケートで、「防災学習」の問いに肯定的な意見が80%以上となる。